

2018年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月7日

上場会社名 株式会社ノエビアホールディングス
 コード番号 4928 URL <http://www.noevirholdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 俊
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 羽生 光嘉 (TEL) 078-303-5121
 定時株主総会開催予定日 2018年12月7日 配当支払開始予定日 2018年12月10日
 有価証券報告書提出予定日 2018年12月7日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年9月期の連結業績 (2017年10月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年9月期	57,828	6.2	11,343	13.6	11,577	12.5	7,842	10.8
2017年9月期	54,473	6.4	9,986	29.6	10,291	31.4	7,077	40.2

(注) 包括利益 2018年9月期 8,024百万円 (3.8 %) 2017年9月期 7,729百万円 (59.2 %)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2018年9月期	228.56	—	14.1	13.1	19.6
2017年9月期	199.64	—	12.3	11.2	18.3

(参考) 持分法投資損益 2018年9月期 一百万円 2017年9月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年9月期	82,817	51,998	62.6	1,517.61
2017年9月期	93,567	59,365	63.2	1,669.18

(参考) 自己資本 2018年9月期 51,836百万円 2017年9月期 59,175百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年9月期	4,965	△1,119	△15,503	28,701
2017年9月期	8,136	△1,426	△4,389	40,350

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2017年9月期	—	0.00	—	150.00	150.00	5,317	75.1	9.3
2018年9月期	—	0.00	—	180.00	180.00	6,148	78.8	11.3
2019年9月期(予想)	—	0.00	—	180.00	180.00		76.9	

3. 2019年9月期の連結業績予想 (2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,700	4.5	5,900	0.8	6,000	1.4	2,500	8.2	73.19
通 期	59,500	2.9	11,700	3.1	11,900	2.8	8,000	2.0	234.22

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年9月期	34,156,623株	2017年9月期	35,451,653株
② 期末自己株式数	2018年9月期	56株	2017年9月期	30株
③ 期中平均株式数	2018年9月期	34,312,699株	2017年9月期	35,451,623株

(注) 1株当たり当期純利益(連結)の算定の基礎となる数式については、添付資料16ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析（1）経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 経営方針	5
(1) 会社の経営の基本方針及び中長期的な会社の経営戦略	5
(2) 目標とする経営目標	5
(3) 会社の対処すべき課題	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(連結貸借対照表関係)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

①当期の経営成績

《概況》

	2017年9月期		2018年9月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	54,473	100.0	57,828	100.0	3,354	6.2
化粧品事業	39,197	72.0	42,616	73.7	3,419	8.7
医薬・食品事業	13,488	24.8	13,199	22.8	△289	△2.1
その他の事業	1,788	3.2	2,013	3.5	224	12.6

	2017年9月期		2018年9月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)		
営業利益	9,986	18.3	11,343	19.6	1,357	13.6
経常利益	10,291	18.9	11,577	20.0	1,286	12.5
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,077	13.0	7,842	13.6	764	10.8

当連結会計年度（2017年10月1日～2018年9月30日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が進み緩やかに拡大しているものの、為替相場の変動や海外経済の不確実性などにより、景気の動向は不透明な状況で推移しました。

このような環境の中、中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高57,828百万円（前期比6.2%増）、営業利益11,343百万円（同13.6%増）、経常利益11,577百万円（同12.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益7,842百万円（同10.8%増）となりました。利益につきましては、いずれも過去最高となりました。

《セグメント別の状況》

(a)化粧品事業

	2017年9月期 (百万円)	2018年9月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	39,197	42,616	3,419	8.7
セグメント利益	11,002	12,155	1,152	10.5

化粧品事業は、売上高42,616百万円（前期比8.7%増）、セグメント利益12,155百万円（同10.5%増）となりました。

カウンセリング化粧品は、新商品の美容液や高級基礎化粧品シリーズが順調に推移しました。

セルフ化粧品は、基礎及びメイクの新商品や既存シリーズが伸長しました。

(b)医薬・食品事業

	2017年9月期 (百万円)	2018年9月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	13,488	13,199	△289	△2.1
セグメント利益	745	1,309	564	75.6

医薬・食品事業は、売上高13,199百万円（前期比2.1%減）、セグメント利益1,309百万円（同75.6%増）となりました。

販売費及び一般管理費の効率的な運用などにより増益となりました。

(c)その他の事業

	2017年9月期 (百万円)	2018年9月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	1,788	2,013	224	12.6
セグメント利益	128	135	6	5.2

その他の事業は、売上高2,013百万円（前期比12.6%増）、セグメント利益135百万円（同5.2%増）となりました。

アパレル・ボディファッション関連及び航空関連は、堅調に推移しました。

(注) セグメント利益及び損失は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用調整前の金額であります。なお、当連結会計年度のセグメント利益の調整額の詳細につきましては14ページ及び15ページ「(セグメント情報)③報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報(注)1」をご覧ください。

②次期の見通し

中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」を目指すことにより、2019年9月期の連結業績は、売上高595億円、営業利益117億円、経常利益119億円、親会社株主に帰属する当期純利益80億円を予想しております。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10,750百万円減少し、82,817百万円となりました。主に、現金及び預金が11,649百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ3,383百万円減少し、30,818百万円となりました。主に、支払手形及び買掛金が2,860百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ7,366百万円減少し、51,998百万円となりました。主に、自己株式の消却9,971百万円、前期末配当5,317百万円による減少と、親会社株主に帰属する当期純利益7,842百万円により、利益剰余金が7,446百万円減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は62.6%、1株当たり純資産は1,517.61円となり、前連結会計年度末に比べて自己資本比率は0.7%の減少、1株当たり純資産は151.57円の減少となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末の40,350百万円に比べ11,648百万円減少し、28,701百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は4,965百万円（前期比3,170百万円の収入減）となりました。主に、増加要因として、税金等調整前当期純利益11,604百万円、減少要因として、法人税等の支払及び還付4,024百万円、仕入債務の減少2,857百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は1,119百万円（前期比307百万円の支出減）となりました。主に、有形固定資産の取得による支出1,261百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は15,503百万円（前期比11,114百万円の支出増）となりました。主に、自己株式の取得による支出9,971百万円、配当金の支払5,315百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2014年 9月期	2015年 9月期	2016年 9月期	2017年 9月期	2018年 9月期
自己資本比率(%)	63.5	62.4	62.2	63.2	62.6
時価ベースの自己資本比率(%)	88.1	104.9	121.7	234.9	255.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	—	5.5	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	7,802.6	3,280.3	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債（利子込み法によるリース債務を除く）を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題と考えております。よって、中長期的な事業展開と経営体制の強化のための内部留保を確保しつつ、株主の皆様への安定的な配当を継続することを基本方針としております。当期の期末配当金は上記方針に則り、直近の配当予想から30円増配し、1株当たり普通配当180円といたします。

次期の配当金は、1株当たり普通配当年間180円を予定しております。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針及び中長期的な会社の経営戦略

中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」を達成するため、以下5つの方針を実行してまいります。

1. 日本におけるイノベーションと持続的利益創出
2. 海外でのブランド価値向上と市場拡大
3. 人材、組織の多様化とグローバル化
4. ものづくりの競争力強化
5. 変化に対応できる経営の推進

(2) 目標とする経営指標

当社グループでは、売上高、営業利益及び自己資本当期純利益率/ROEを重要な経営指標とし、企業価値の最大化と収益性の向上を実現してまいります。

(3) 会社の対処すべき課題

当社グループの主要事業である化粧品、医薬・食品事業の市場における変化や多様化に対応するため、中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」を推し進めていくことが対処すべき課題と認識しております。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較継続性や海外市場での資金調達の実現性の必要性が低いこと等を勘案し、当面は、日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、今後、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当連結会計年度 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,424	28,775
受取手形及び売掛金	11,922	11,764
商品及び製品	5,859	6,618
仕掛品	107	104
原材料及び貯蔵品	1,240	1,448
繰延税金資産	782	745
未収入金	3,250	4,087
その他	633	546
貸倒引当金	△20	△23
流動資産合計	64,200	54,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,477	4,259
機械装置及び運搬具（純額）	3,505	2,717
土地	13,716	13,716
リース資産（純額）	1,439	1,331
建設仮勘定	54	601
その他（純額）	192	222
有形固定資産合計	※1 23,384	※1 22,849
無形固定資産		
のれん	48	2
ソフトウェア	153	131
その他	85	91
無形固定資産合計	288	225
投資その他の資産		
投資有価証券	2,438	2,490
退職給付に係る資産	161	192
繰延税金資産	1,861	1,739
その他	1,270	1,277
貸倒引当金	△38	△25
投資その他の資産合計	5,693	5,674
固定資産合計	29,366	28,749
資産合計	93,567	82,817

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当連結会計年度 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,860	3,000
リース債務	116	115
未払金	3,077	3,119
未払法人税等	1,993	2,155
賞与引当金	83	81
返品調整引当金	388	391
その他	1,166	938
流動負債合計	12,687	9,802
固定負債		
リース債務	1,438	1,325
長期預り保証金	14,323	13,875
繰延税金負債	422	440
退職給付に係る負債	5,196	5,240
その他	134	135
固定負債合計	21,515	21,016
負債合計	34,202	30,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,319	7,319
利益剰余金	51,243	43,796
自己株式	△0	△0
株主資本合計	58,562	51,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	819	913
為替換算調整勘定	△107	△97
退職給付に係る調整累計額	△99	△95
その他の包括利益累計額合計	612	720
非支配株主持分	189	162
純資産合計	59,365	51,998
負債純資産合計	93,567	82,817

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2016年10月1日 至 2017年9月30日)	当連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)
売上高	54,473	57,828
売上原価	18,712	20,588
売上総利益	35,761	37,240
販売費及び一般管理費		
販売促進費	4,822	4,804
広告宣伝費	1,609	1,389
給料手当及び賞与	6,450	6,394
賞与引当金繰入額	88	88
退職給付費用	597	529
減価償却費	1,175	1,214
研究開発費	1,132	1,046
その他	9,899	10,428
販売費及び一般管理費合計	25,775	25,896
営業利益	9,986	11,343
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	13	15
為替差益	23	—
保険配当金	70	103
その他	192	134
営業外収益合計	306	259
営業外費用		
為替差損	—	22
その他	1	2
営業外費用合計	1	25
経常利益	10,291	11,577
特別利益		
固定資産売却益	177	15
投資有価証券売却益	—	58
退職給付制度改定益	37	—
特別利益合計	215	73
特別損失		
固定資産除売却損	16	46
減損損失	199	—
特別損失合計	216	46
税金等調整前当期純利益	10,289	11,604
法人税、住民税及び事業税	3,134	3,553
法人税等調整額	11	132
法人税等合計	3,145	3,685
当期純利益	7,144	7,919
非支配株主に帰属する当期純利益	66	76
親会社株主に帰属する当期純利益	7,077	7,842

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2016年10月1日 至 2017年9月30日)	当連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)
当期純利益	7,144	7,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	366	94
為替換算調整勘定	202	6
退職給付に係る調整額	16	4
その他の包括利益合計	585	104
包括利益	7,729	8,024
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	7,646	7,950
非支配株主に係る包括利益	83	73

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2016年10月1日 至 2017年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,319	48,420	△0	55,739
当期変動額				
剰余金の配当		△4,254		△4,254
親会社株主に帰属する 当期純利益		7,077		7,077
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	－	2,823	－	2,823
当期末残高	7,319	51,243	△0	58,562

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	453	△292	△116	44	125	55,908
当期変動額						
剰余金の配当						△4,254
親会社株主に帰属する 当期純利益						7,077
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	366	185	16	568	64	633
当期変動額合計	366	185	16	568	64	3,456
当期末残高	819	△107	△99	612	189	59,365

当連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,319	51,243	△0	58,562
当期変動額				
剰余金の配当		△5,317		△5,317
親会社株主に帰属する 当期純利益		7,842		7,842
自己株式の取得			△9,971	△9,971
自己株式の消却		△9,971	9,971	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	△7,446	△0	△7,447
当期末残高	7,319	43,796	△0	51,115

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	819	△107	△99	612	189	59,365
当期変動額						
剰余金の配当						△5,317
親会社株主に帰属する 当期純利益						7,842
自己株式の取得						△9,971
自己株式の消却						—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	94	9	4	108	△27	80
当期変動額合計	94	9	4	108	△27	△7,366
当期末残高	913	△97	△95	720	162	51,998

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2016年10月1日 至 2017年9月30日)	当連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	10,289	11,604
減価償却費	1,845	1,850
減損損失	199	—
のれん償却額	45	45
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	△10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16	△1
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	13	3
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	△22	12
受取利息及び受取配当金	△19	△22
為替差損益 (△は益)	△9	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△58
固定資産除売却損益 (△は益)	△160	30
退職給付制度改定益	△37	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△992	168
たな卸資産の増減額 (△は増加)	64	△969
仕入債務の増減額 (△は減少)	277	△2,857
預り保証金の増減額 (△は減少)	△505	△447
その他	△19	△377
小計	10,976	8,969
利息及び配当金の受取額	18	19
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,858	△4,024
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,136	4,965
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△72	△72
定期預金の払戻による収入	72	72
投資有価証券の取得による支出	△270	△1
投資有価証券の売却による収入	—	145
有形固定資産の取得による支出	△1,517	△1,261
有形固定資産の売却による収入	423	43
無形固定資産の取得による支出	△62	△44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,426	△1,119
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△9,971
配当金の支払額	△4,252	△5,315
非支配株主への配当金の支払額	△18	△100
その他	△117	△115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,389	△15,503
現金及び現金同等物に係る換算差額	134	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,454	△11,648
現金及び現金同等物の期首残高	37,895	40,350
現金及び現金同等物の期末残高	40,350	28,701

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「受取和解金」は、金額的重要性が低下したため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「受取和解金」90百万円は、「営業外収益」の「その他」に含めて表示しております。

(連結貸借対照表関係)

※1 有形固定資産の減価償却累計額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当連結会計年度 (2018年9月30日)
有形固定資産の減価償却累計額	24,402百万円	25,751百万円

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、主として化粧品及び医薬品・食品の製造販売事業とアパレル・ボディファッション関連及び航空関連等のその他の事業を営んでおり、変化や多様化が進む市場環境に対応した戦略に基づく事業活動を行っております。

したがって、当社グループは、取り扱い商品を基礎とした事業別セグメントから構成されており、以下の3つを報告セグメントとしております。

「化粧品事業」は、化粧品及びトイレタリーの製造販売、化粧雑貨の仕入販売を行っております。

「医薬・食品事業」は、医薬品及び食品の製造・仕入販売を行っております。

「その他の事業」は、アパレル・ボディファッション及び航空機・船舶の仕入販売、航空運送事業、その他を行っております。

②報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、最近の有価証券報告書(2017年12月7日提出)により開示を行った「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値であります。

なお、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

③報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2016年10月1日 至 2017年9月30日)

(単位：百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	39,197	13,488	1,788	54,473	—	54,473
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	187	187	△187	—
計	39,197	13,488	1,975	54,661	△187	54,473
セグメント利益	11,002	745	128	11,877	△1,891	9,986
セグメント資産	57,236	22,903	1,453	81,594	11,973	93,567
その他の項目						
減価償却費	1,138	714	33	1,886	△40	1,845
のれんの償却額	2	43	—	45	—	45
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,220	274	25	1,520	△22	1,497

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,891百万円の内訳は、セグメント間取引消去591百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,482百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の金融資産（現金及び預金、投資有価証券等）及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、セグメント間消去に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、セグメント間消去によるものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位：百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	42,616	13,199	2,013	57,828	—	57,828
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	190	190	△190	—
計	42,616	13,199	2,203	58,019	△190	57,828
セグメント利益	12,155	1,309	135	13,600	△2,257	11,343
セグメント資産	53,181	20,062	1,308	74,552	8,264	82,817
その他の項目						
減価償却費	1,312	627	38	1,978	△128	1,850
のれんの償却額	2	43	—	45	—	45
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,133	222	44	1,400	△25	1,375

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,257百万円の内訳は、セグメント間取引消去696百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,954百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の金融資産（現金及び預金、投資有価証券等）及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、セグメント間消去等に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、セグメント間消去等によるものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2016年10月1日 至 2017年9月30日)

(単位：百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	全社・消去	合計
減損損失	189	10	—	—	199

当連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2016年10月1日 至 2017年9月30日)

(単位：百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	全社・消去	合計
当期末残高	2	46	—	—	48

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位：百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	全社・消去	合計
当期末残高	0	2	—	—	2

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2016年10月1日 至 2017年9月30日)	当連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)
1株当たり純資産額	1,669.18円	1,517.61円
1株当たり当期純利益金額	199.64円	228.56円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため、記載していません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当連結会計年度 (2018年9月30日)
純資産の部の合計額(百万円)	59,365	51,998
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	189	162
(うち非支配株主持分)	(189)	(162)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	59,175	51,836
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	35,451,623	34,156,567

3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2016年10月1日 至 2017年9月30日)	当連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	7,077	7,842
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	7,077	7,842
普通株式の期中平均株式数(株)	35,451,623	34,312,699

(重要な後発事象)

該当事項はありません。